

2021年度 事業報告書

特定非営利活動法人 SalamtA

1 事業の成果

2020年度に引き続きコロナ禍で活動は制約を受けた中で、フィリピン訪問事業などの実施をすることはできなかった。

唯一実施できた事業が、NPO すみれブーケ・社会福祉法人福音寮との連携事業として、若者支援のためのチャリティー「みんなのさくらチャリティーマルシェ」にNPOSalamatAとして参加をすることができた。この事業は、2020年12月にNPO すみれブーケが呼び掛けて、コロナ禍でできる活動として若者支援の資金を得るため「かみきたチャリティーマルシェ」として社会福祉法人福音寮の協力を得て児童養護施設福音慮の玄関先をお借りして開始されたものである。NPOSalamatAは、協賛される方の仲介により茨城県古河市の鈴木農園から仕入れ値で野菜を買い入れてもらい販売を担当し、輸送や仕入れはボランティアが担ってくれ SalamtA は販売を担当することで、フィリピン若者支援（Agape 奨学金）として受け取る仕組みでマルシェの収益を寄付していただくことができた。また、学生 SalamtA もこのマルシェでアクセサリー等の販売を担当することができた。

かつてフィリピンツアーにご一緒した大澤さんから、「YMCA Y'sユースプロジェクト2022」の助成金応募のご推薦をいただき、Sky Light プロジェクトメンバーを募集し（メンバー9名）佐藤乃歩さんがリーダーとなり2022年3月の選考に参加、その結果助成採択となりSDGsをテーマにした創作絵本とリコーダー・鍵盤ハーモニカテキストを合わせて2022年度新規事業としてに作成をすることとなった。テキスト作製にあたっては、鍵盤ハーモニカ奏者妹尾美穂氏にアドバイザーを依頼して了解を得ている。

コロナ禍で対面活動が大学から制約されている学生 SalamtA との連携事業や卒業生やツアー参加者による交流の事業等はすべて行えておらず、活動の連携にあたっての課題となっている。また、ボランティア参加者も限られ、理事も毎回の参加が厳しい状況となり事業継続の在り方が問われる事態となっており、今後は活動を担う若者との連携や活動に参加してくれる会員の獲得などをしていかなないと事業継続が危ぶまれる状況にある。NPOとして主体的なこれらの課題に向き合うことが求められている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【0】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	予定受益対象者人数	事業費(千円)
子どもの主体的活動サポート事業	コロナウィルス感染症対策の為に中止	実施せず	都内会議スペース	各月5名	一般	なし	0
チャリティーマルシェおよび広報啓	マルシェにおける運営への参加	毎月二回	福音寮前	5名	フィリピン大学奨学生	約90名	0 寄付金額に関して決算書参照

発活動	フィリピン支援地域の為に現地 団体とパートナーシップ協定に 基づき奨学金やその支援者を増 やすため広報や募集活動を行 う。	通年 マルシェに てパンフ・ 情報誌配布 等	ホームペー ジ等の電子 媒体上	2名	フィリピン支援 地域の子ども	フィリピンの子 ども・若者たち 奨学生約90名 小学生等200 名から1000 名	0
-----	---	------------------------------------	-----------------------	----	-------------------	--	---